

年頭によせて

安平野姫



町民の皆様、明けましておめでとうございます。輝かしい新春を迎える謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より町政各般にわたり深いご理解とあたかいご支援を賜り、心より御礼を申し上げます。

昨年は、日本では20年ぶりとなる大阪万博が4月から開催され、10月には憲政史上初の女性総理大臣が誕生するなど明るいニュースが続きましたが、一方では全国的にクマの出没が相次ぎ、人に対する被害が発生するニュースや物価の上昇が続き、特に米価の高止まりによって、日常の消費生活に大きな影響が出るなど、身近な問題が話題となつた年でもありました。

当町の出来事に目を向けますと、4月には胆振東部地震で復興計画の最後の大型事業である早来町民センターの大規模改修工事が完了し、合宿所機能を持つた新しい施設として従来のコミュニティスペースの機能も残しながら宿泊に対応した機能が追加され、災害時は避難所としても安心・安全に使用できる施設へと生まれ変わりました。せいこどームの利用とあわせ、町外からのスポーツ合宿や文化団体の利活用など、より多くの方に利用されております。これからもスポーツ・文化を通じた人の交流や来町者の増加により、町中が賑わうことを願っております。

ナックス・アーロム・ワイナリーも完成し、新たな特産品も加わる予定です。今後も観光情報の拠点として町内外の方々が訪れていただけることを期待しております。

軽種馬産業においては、玉皇賞や安田記念、菊花賞など国内主要レースで活躍したほか、海外のドバイで開催されたドバイシーマクラシック、アメリカで開催された世界最高峰のダートレースであるブリーダーズカップ・クラシックで日本馬初制覇の快挙を成し遂げるなど、安平町産駒が世界中に歓喜をもたらしました。今年も多くの産駒が国内外のターフを疾走し、大いに活躍することが望されます。

今後とも町民の皆様と手を携え「チームあびら」の今言葉のもと「育てたい暮らせたい帰りたいみんなで来て駆けるまち」の実現のために、より一層お力を貸していただきますよう心からお願ひ申し上げます。

結びになりますが、心の豊かさと日々の暮らしに喜びを実感できるまちづくりを進めしていくため、町民の皆様と協働しながら邁進する所存でありますので、引き続きあたたかいご支援とご協力をお願ひ申し上げます。

本年が皆様にとりまして、希望に満ちた幸多き年となりますよう、心からお祈り申上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

頌春